



# そらぶちファーマーズ

地元農産品キャラティ販売はいつも大好評！

「そらぶちファーマーズ」は、キャンプ地江部乙町の近隣農家の有志の方々で構成されています。

そらぶちファーマーズの皆様が作った農産品（ジャガイモ、お米等）をかわいらしい箱に詰め、「そらぶちボックス」としてチャリティ販売を行っています。

現在「そらぶちボックス」は、全国のそらぶち賛同者（そらぶちキッズキャンプ会員、ボランティア等）の皆様に、ニュースレタ等と共に「販売のお知らせ」をお送りし、数量限定で販売していますが、毎回早期に完売し、その売上げの一部をキャンプ事業や施設建設に役立てることが出来ています。

「そらぶちボックス」は、「良質な農作物を作ることで、そらぶちキッズキャンプのために何かしたい！」というそらぶちファーマーズの気持ちと、「地元農産品を買うことで、そらぶちキッズキャンプのために貢献したい！」という全国のそらぶち賛同者の皆様の気持ちをつなぐものです。「そらぶちボックス」はそんなお互いの、優しい心と心をつなぎ、みんなが幸せな気持ちになれる「魔法の箱」と言っても過言ではないでしょう。

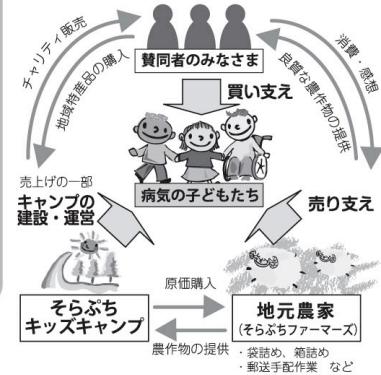
また、そらぶちキッズキャンプ（夏のサマーキャンプ）に参加した子どもたちにも、収穫を手伝うことで豊かな自然を体験しながら、そらぶちファーマーズの皆様の優しさに触れる機会を作っています。初めて土の中から野菜を収穫した子どもたちの笑顔は、太陽の光を浴びてキラキラ輝いていました。

これからも、「そらぶちボックス」を通して、より多くの皆様の心と心がつながり、「そらぶちキッズキャンプ」支援の輪が広がることを願っています。



▲そらぶちボックス

## 買い支え・売り支えのしくみ

▲キャンパーのみんなも  
楽しく収穫をお手伝い♪

## 私たち、そらぶちキッズキャンプを 応援しています！

# そらぶちの森

森の維持管理ボランティアによるやさしい森づくり

病気とたたかう子どもたちを受け入れるキャンプでは、車いすを使用する子どもが安全に楽しく、自然体験ができるような、バリアフリー整備が不可欠です。車いすのまま散歩に行けるような、安全で楽しい森をつくりたい！

「そらぶちの森人」と呼ばれる市民ボランティアが集まり、地元間伐材を使った、車いすにも環境にもやさしい、バリアフリーの木道を森の中につくりました。測量、穴堀り、支柱の据付にレールの取り付け etc … その建設・設置作業に参加したのは、のべ 130 人。みんなで話し合いながら、時には専門家のアドバイスを聞きながら、作業を進めました。そして、木道の軸体の上に敷板を張っていく作業は、キャンプの参加者に手伝ってもらいました。大人も子どももみんなで一枚一枚電動ドリルで打ち付けました。木道のオープニングセレモニーには、キャンプの参加者・スタッフ、そらぶちの森人メンバーなど約 100 名近くの人たちが参加しました。これから続く木道の夢を描いた絵を先頭に、楽しい音楽に合わせて夢の木道の渡り初め！これが「そらぶちの森」づくりの記念すべき第一歩となりました。

また、「そらぶちの森人」は森の下草刈りを定期的に行いながら、子どもたちが、森の中で安全に楽しく過ごせるような仕掛けをつくっていきます。木の上に建てるウッドハウスや、木のブランコ etc … 子どもたちが安心して遊べる、楽しい「そらぶちの森」づくりの夢は、これからもどんどん広がっていきます！そらぶちの森は、「やさしさ」により生まれ、そして育てられています。



様々な取り組み方で  
そらぶちを応援して  
下さっているみなさま、  
本当にありがとうございます♪



▲設置場所を決めたら穴堀り作業



# そらぶちドールズ

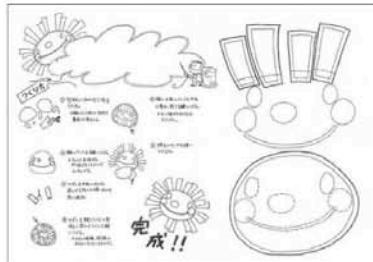
やさしさが詰まつた人形づくり。人形製作ボランティア。

そらぶちキッズキャンプにボランティアとして参加する方法のひとつとして、「マスコット作り」があります。そらぶちキッズキャンプのマスコット「そらぶちドール」と「そらっぷ」を作り、キャンプに送ると、それがキャンプに参加する子どもたちへのお土産になります。それぞれのマスコットの作り方は、そらぶちキッズキャンプのホームページ (<http://www.solaputi.jp>) からダウンロード出来ます。

「手芸は苦手だから…」「プレゼントできるような素敵なものを作れる自信がない…」というようなことは気にせず、ぜひ挑戦してみてください。あなたの優しい気持ちがこもった、世界にたった一つの「そらっぷ」や「そらぶちドール」に会えるのを楽しみに待っている子どもたちがいます！

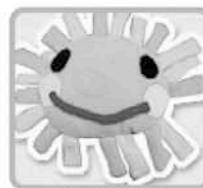
また、送っていただいたマスコットは、イベントなどでチャリティ販売し、活動資金にさせていただくこともあります。

いろいろな表情の「そらっぷ」「そらぶちドール」を手にした子どもたちは、にっこり。そらぶちキッズキャンプに参加して新しい友だちが出来ただけでなく、これからずっと一緒にそばに居てくれる友だち「そらっぷ」「そらぶちドール」も出来たのです。子どもたちは、キャンプでの楽しい思い出をこの人形に詰め込むのです。これからも病気と向き合っていかなければならない子どもたちにとって、心の支えのひとつになってくれることでしょう。ぜひ、あなたの優しさが詰まった、世界にたったひとつの「そらっぷ」「そらぶちドール」をそらぶちキッズキャンプへお送り下さい。



▲「作り方」はホームページからダウンロードできます。

<http://www.solaputi.jp>



▲そらっぷ



▲そらぶちドール



▲キャンプのお土産（思い出）として子どもたちにプレゼント！

## やさしい気持ちをカタチにして届けるコト。 あなたも始めてみませんか？



# そらぶちの輪 プロジェクト

PRボランティアの目的は、まずは「知つてもううこと」。  
広げよう、つなげよう、そらぶちの「輪」！



▼ひとつひとつの出会いが大きな「輪」となりつながっていきますように…



「そらぶちキッズキャンプって、何？」

あなたがもしも、お友達やお知り合いの方からそのように聞かれたら、何と答えますか？

「難病の子どもたちが安心して外でも遊べるように、特別に配慮された自然体験施設を滝川市丸加高原に作ろうとしているんだよ。ホームページに詳しいことが書かれているよ。」

ぜひ、そんな風に「そらぶちキッズキャンプ」のことを広めてください。そうすることが、ボランティア活動になります。

「そらぶちの輪プロジェクト」とは、「そらぶちキッズキャンプ」を広くPRすることにより、キャンプへの理解と支援の輪を広げて行きたいという願いからはじまったプロジェクトです。地元FMラジオ(G'Sky)で、キャンプの活動紹介をしているボランティアメン

バーが中心となり、どんな人でも参加できるようグループ化せず、活動に参加する人すべてが仲間になります。地域のイベントでは、そらぶちキッズキャンプのPRブースを設置し、募金箱の設置やパネルによる活動報告展示、チャリティ商品（ラーメンなど）の販売などを行っています。

また「そらぶちの輪プロジェクト」は、そらぶちキッズキャンプのPRを第1の目的としていますが、その他に「難病などのため様々なハンディキャップを持つ人々の現状を知つてもらい、自分に何ができるかを考えるきっかけをつくる」ことや「『そらぶち（広い意味で空知地域と解釈）』にいる人や自然、食べ物の魅力を発信し、『そらぶち』地域に元気になってもらう」ことも、活動方針にしています。ぜひあなたも、気軽に「そらぶちの輪プロジェクト」にご参加ください。

